



早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター

第 17 回ふくしま学(楽)会・第 13 回 1F 地域塾・第 4 回福島再生塾 開催案内

早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンターは、「世代を越えて」「地域を越えて」「分野を越えて」世界の多様な人々と福島の復興と廃炉を共に語り共に考え、社会イノベーションを創出する新たな知識創造を行う「対話の場 (Place of Dialogue)」＝「学びの場 (Learning Community)」として 2018 年 1 月 28 日に第 1 回ふくしま学(楽)会を、福島県広野町において開催しました。

以来、半年に 1 回の頻度でふくしま学(楽)会を開催しています。今回の第 17 回ふくしま学(楽)会は第 13 回 1F 地域塾および第 4 回福島再生塾との共同開催とし、「**福島 15 年：復興と廃炉の過去・現在・未来を考える**」をテーマに、2026 年 1 月 31 日(土) 13:00-18:00、福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校会場(福島県広野町)＋オンライン(Zoom)で開催します。

今回の第 17 回ふくしま学(楽)会・第 13 回 1F 地域塾・第 4 回福島再生塾のテーマ「福島 15 年：復興と廃炉の過去・現在・未来を考える」では、東日本大震災・福島原発事故から 15 年を迎えるにあたり、この 15 年間の復興と廃炉によって福島と日本社会の何が変わったのか(復興と廃炉によって地域社会は再生したのか?)、何が変わらなかったのか(なぜ変わらないのか?)、創造的復興＝イノベーション創造は進んだのか?)、これから私たちは(福島は and 日本社会は)何をしなければならないのか? などについて、多様な観点から自由闊達に議論したいと考えています。

ふくしま学(楽)会は結論を求めないオープンエンドな「対話の場＝「学びの場」です。ふくしま学(楽)会は復興政策と廃炉政策という難しい政策課題がテーマですが、特定の結論を決めるのではなく、人類が経験したことのないトランス・サイエンス的課題へアプローチする新たな革新的アイデアの発見 (Idea Discovery) を重視し、社会イノベーションの形成へ繋がりたいと考えています。

2011 年 3 月 11 日からまもなく 15 年を迎えるにあたり、福島原子力災害の記憶と記録を将来世代に発展的に継承するため、今一度、「福島原子力災害とは何か?」「福島の教訓とは何か?」を広く深く考えたいと思います。

第 17 回ふくしま学(楽)会・第 13 回 1F 地域塾・第 4 回福島再生塾では、「福島 15 年：復興と廃炉の過去・現在・未来を考える」をテーマに、「世代を越えて」「地域を越えて」「分野を越えて」、多くの皆さんと一緒に「**福島を学ぶ場 (Learning Fukushima Community)**」を創りたいと思います。

日本と世界の多くの皆さんの **Learning Fukushima Community** への参加を心より呼びかけます。

第 17 回ふくしま学(楽)会・第 13 回 1F 地域塾・第 4 回福島再生塾 「福島 15 年：復興と廃炉の過去・現在・未来を考える」

日時：2026 年 1 月 31 日(土) 13:00-18:00

会場：福島県立ふたば未来学園(福島県広野町) 地域協働スペース＋オンライン(傍聴のみ)

<https://futabamiraigakuen-h.fcs.ed.jp/plugin/searchs/search/79/6#frame-6>

連絡先：charlottelin7@toki.waseda.jp

参加申込みサイト：<https://forms.gle/df1eRxt9fL1xwriA9>





プログラム：

総合司会：鈴木貴人（福島県立ふたば未来学園高校・教諭）

崎田裕子（1F 廃炉の先研究会・副代表、1F 地域塾・副塾頭、環境ジャーナリスト）

開会挨拶：13:00-13:20

小松和真（福島県広野町・町長）

山本育男（福島県富岡町・町長）（予）

小野田弘士（早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・研究科長、早稲田大学環境総合研究センター・所長）

加藤篤史（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・研究科長、早稲田大学アジア太平洋研究センター・所長）

遠藤秀文（株式会社ふたば・社長、株式会社ふたばラレス・社長）

對馬俊晴（福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校・校長）

1. パネル・ディスカッション「福島 15 年：復興と廃炉の過去・現在・未来を考える」13:20-15:10

司会：森口祐一（1F 廃炉の先研究会副代表、1F 地域塾副塾頭、国立環境研究所・元理事）

パネルの趣旨・目的：13:20-13:40

松岡俊二（早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター・センター長、1F 地域塾・塾頭、福島再生塾・塾頭、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・教授）

パネル・ディスカッション：13:40-15:10

藤東佑和（福島県立ふたば未来学園・高校2年）

大野雛子（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科修士1年）

三谷 侑（早稲田大学政治経済学部4年）

小磯匡大（福島県立ふたば未来学園高校・教諭）

今野秀則（浪江町津島地区行政区長、ふるさとを返せ津島原発訴訟団・団長）

南郷市兵（大熊町立学び舎ゆめの森・校長）

力丸祥子（朝日新聞社会部・記者）

溝上伸也（1F 地域塾・運営委員、東京電力・廃炉推進カンパニー・燃料デブリ取り出しプログラム部・部長）

他1名程度

（休憩：15:10-15:20）

2. 小グループによる「対話の場」15:20-16:50

（休憩：16:50-17:00）

3. 全体会17:00-17:50

閉会挨拶：17:50-18:00

*本事業は、福島イノベーション・コースト構想推進機構・2025年度大学等の復興知を活用した人材育成基盤構築事業により実施しています。

*ふくしま学（楽）会の名称は、首都圏などからの産業廃棄物の不法投棄から地域社会を再生した瀬戸内海の豊島において、豊島の教訓を次世代へ伝えるために、2007年4月から住民、学生、研究者・専門家が開催してきた豊島学（楽）会に由来するものです。

